

環境コミュニケーション

●メディアを通じた社会との連携

JR東日本における環境と社会に対する取り組みを正確かつ分かりやすく伝える「環境報告書(2002年から「社会環境報告書」)」を1996年から毎年発行しています。また子供向け小冊子の発行や新幹線車内情報誌「トランヴェール」を活用した情報発信、インターネットや列車内のポスターなどのメディアを通じての情報発信も行っています。

●イベントでの情報発信

「エコプロダクツ2008」へ出展し、JR東日本グループにおける環境への取り組みについて紹介を行いました。また2009年3月には品川駅構内において、東京ガス(株)との共催で「ガス&レールウェイ」展を開催し、「低炭素社会」をテーマに、駅を利用されるお客さまへ両社の取り組みや今後のビジョンについての紹介を行いました。これ以外にも各自治体などと連携した各地域におけるイベントに参加しています。



「エコプロダクツ2008」へ出展

●エコツーリズム

観光を通じて、日本の自然や文化への愛着を深めていく「エコツーリズム」。世界遺産の白神山地の魅力をお伝えする「ブナの学校出前講座」を首都圏で開催し、現地で開催している「ブナの学校」には、400名を超える参加がありました。また各地の駅を拠点にした「駅からハイキング」も継続して実施し、2008年度は486回実施、約20万名の方にご参加いただきました。



ブナ林の中に真っ青な水を温める青池



ニツ森での植樹体験



ブナの自然林での体験